

5 教員組織の状況

<工学部 電気電子システム学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	葛谷 幹夫 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	葛谷 幹夫 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	葛谷 幹夫 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	葛谷 幹夫 (平成30年4月) 工学博士
		インターンシップA 電気数学演習 電気回路A I 電気計測 電子計測システム 電気電子工学実験A 電気電子工学実験B ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			インターンシップA 電気数学演習 電気回路A I 電気計測 電子計測システム 電気電子工学実験A 電気電子工学実験B ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			インターンシップA 電気数学演習 電気回路A I 電気計測 電子計測システム 電気電子工学実験A 電気電子工学実験B ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			インターンシップA 電気数学演習 電気回路A I 電気計測 電子計測システム 電気電子工学実験A 電気電子工学実験B ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー
専	教授	栗演 忠司 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	栗演 忠司 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	栗演 忠司 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	栗演 忠司 (平成30年4月) 工学博士
		インターンシップA インターンシップB 電気磁気学II 電気回路A II デジタル信号処理 電気電子工学実験A ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			インターンシップA インターンシップB 電気磁気学II 電気回路A II デジタル信号処理 電気電子工学実験A ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			インターンシップA インターンシップB 電気磁気学II 電気回路A II デジタル信号処理 電気電子工学実験A ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー	兼担	教授	平田 豊 (令和2年4月) 博士(工学)
											デジタル信号処理
専	教授	中村 雅憲 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	中村 雅憲 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	中村 雅憲 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	中村 雅憲 (平成30年4月) 工学博士
		インターンシップB 電気磁気学II 電気回路演習 I 電気回路演習 II 電気エネルギー変換機器 I 電気エネルギー変換機器 II 電気電子工学実験D ゼミナールA※ ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			インターンシップB 電気磁気学II 電気回路演習 I 電気回路演習 II 電気エネルギー変換機器 I 電気エネルギー変換機器 II 電気電子工学実験D ゼミナールA※ ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			インターンシップB 電気磁気学II 電気回路演習 I 電気回路演習 II 電気エネルギー変換機器 I 電気エネルギー変換機器 II 電気電子工学実験D ゼミナールA※ ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			インターンシップB 電気磁気学II 電気回路演習 I 電気回路演習 II 電気エネルギー変換機器 I 電気エネルギー変換機器 II 電気電子工学実験D ゼミナールA※ ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー
専	教授	中野 由崇 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授	中野 由崇 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授	中野 由崇 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授	中野 由崇 (平成30年4月) 博士(工学)
		電気数学演習 電子回路 I 物性科学 半導体工学 電気電子工学実験B ゼミナールA※ ゼミナールB 総合工学概論※ 卒業研究 スタートアップセミナー			電気数学演習 電子回路 I 物性科学 半導体工学 電気電子工学実験B ゼミナールA※ ゼミナールB 総合工学概論※ 卒業研究 スタートアップセミナー			電気数学演習 電子回路 I 物性科学 半導体工学 電気電子工学実験B ゼミナールA※ ゼミナールB 総合工学概論※ 卒業研究 スタートアップセミナー			電気数学演習 電子回路 I 物性科学 半導体工学 電気電子工学実験B ゼミナールA※ ゼミナールB 総合工学概論※ 卒業研究 スタートアップセミナー
専	教授(学 科主任)	中村 圭二 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授(学 科主任)	中村 圭二 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授(学 科主任)	中村 圭二 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授(学 科主任)	中村 圭二 (平成30年4月) 博士(工学)
		電気数学演習 電気磁気学 I 電気回路B II 電子回路 I 電力工学 電気電子工学実験E 電気電子創成工学B 電気電子創成工学D ゼミナールA※ ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気数学演習 電気磁気学 I 電気回路B II 電子回路 I 電力工学 電気電子工学実験E 電気電子創成工学B 電気電子創成工学D ゼミナールA※ ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気数学演習 電気磁気学 I 電気回路B II 電子回路 I 電力工学 電気電子工学実験E 電気電子創成工学B 電気電子創成工学D ゼミナールA※ ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気数学演習 電気磁気学 I 電気回路B II 電子回路 I 電力工学 電気電子工学実験E 電気電子創成工学B 電気電子創成工学D ゼミナールA※ ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー
専	教授	後藤 英雄 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	後藤 英雄 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	後藤 英雄 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	後藤 英雄 (平成30年4月) 工学博士
		電気磁気学 I 電気電子材料 電子デバイス工学 電気電子工学実験A 電気電子工学実験B ゼミナールB 総合工学概論※ 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学 I 電気電子材料 電子デバイス工学 電気電子工学実験A 電気電子工学実験B ゼミナールB 総合工学概論※ 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学 I 電気電子材料 電子デバイス工学 電気電子工学実験A 電気電子工学実験B ゼミナールB 総合工学概論※ 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学 I 電気電子材料 電子デバイス工学 電気電子工学実験A 電気電子工学実験B ゼミナールB 総合工学概論※ 卒業研究 スタートアップセミナー
専	教授	廣塚 功 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	廣塚 功 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	廣塚 功 (平成30年4月) 工学博士	専	教授	廣塚 功 (平成30年4月) 工学博士
		電気磁気学III 電気回路A II 電気エネルギー変換機器 I 電気電子工学実験C ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学III 電気回路A II 電気エネルギー変換機器 I 電気電子工学実験C ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学III 電気回路A II 電気エネルギー変換機器 I 電気電子工学実験C ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学III 電気回路A II 電気エネルギー変換機器 I 電気電子工学実験C ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー
専	教授	常川 光一 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授	常川 光一 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授	常川 光一 (平成30年4月) 博士(工学)	専	教授	常川 光一 (平成30年4月) 博士(工学)
		電気磁気学III 情報基礎 数値計算 プログラミング I プログラミング II ワイヤレス通信 ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学III 情報基礎 数値計算 プログラミング I プログラミング II ワイヤレス通信 ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学III 情報基礎 数値計算 プログラミング I プログラミング II ワイヤレス通信 ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー			電気磁気学III 情報基礎 数値計算 プログラミング I プログラミング II ワイヤレス通信 ゼミナールB 卒業研究 スタートアップセミナー

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 平成30年4月、本務の都合により、生命と医療の担当者を西沢祐治兼担教授を富永敬三兼担講師に、上村和秀兼担教授から片野坂公明兼担准教授に変更。
- 平成30年4月、生田裕子兼担准教授退職のため、日本語スキルBの担当を千葉軒士兼担講師に変更。
- 平成30年4月 佐伯守彦兼担准教授が、本務で教授に昇格。
- 平成30年4月、伊藤守弘兼担准教授が、本務で教授に昇格。
- 平成30年4月、本務の都合により、西本和見兼担教授が担当する現代経済とビジネスを小山太郎兼担講師に変更。
- 平成30年4月、本務の都合により、岩間優希兼担講師が担当する政治と社会を安武裕和兼任講師に変更。

【令和元年度】

- 平成30年10月、本務の都合により、麻生昌裕兼任講師が担当するシーケンス工学を半田執兼任講師に変更。
- 平成31年4月、山本和男専任准教授及び田橋専任准教授が、教授に昇格。
- 平成31年4月、松本純専任助教が、講師に昇格。
- 平成31年4月、橋本道雄兼担准教授の退職に伴い、微分積分学Ⅰ及び微分積分学Ⅱを政宗貞男兼担教授に、微分方程式及び応用数学を竹中俊美兼任講師に、数学の思考法を石鍋雅夫兼担教授に変更。
- 平成31年4月、小黒びるぎった兼担教授が退職のため、ドイツ語入門Ⅰ、ドイツ語入門Ⅱの担当者を中村真奈美兼任講師に、フランス語入門Ⅰ、フランス語入門Ⅱを松浦宏信兼任講師に変更。

【令和2年度】

- 令和2年4月、栗濱忠司専任教授が休職（病氣療養）のため、「電気磁気学Ⅱ」を後藤英雄専任教授に変更し、岩田聡兼任講師を追加、「デジタル信号処理」を平田豊兼担教授に変更。
- 令和2年4月、教育内容充実のため、「電気回路BⅠ」に岩田聡兼任講師を追加。
- 令和2年4月、石鍋雅夫兼担教授定年退職のため、「数学の思考法」を竹中俊美兼任講師に変更。
- 令和2年4月、本務の都合により、西村智兼担教授が担当する「英語スキルⅠ」「英語スキルⅡ」を大門正幸兼担教授に変更。
- 令和2年4月、本務の都合により、澁谷鎮明兼担教授が担当する「韓国語入門Ⅱ」を世古口誠兼任講師に変更。
- 令和2年4月、本務の都合により、三浦太郎兼担教授が担当する「映像を読む」を玉田敦子兼担教授に、「生活環境と人間」を大橋岳兼担講師に変更。
- 令和2年4月、本務の都合により、富永敬三兼担講師と片野坂公明兼担准教授が担当する「生命と医療」を野田明子兼担教授と松田輝兼担准教授に変更。
- 令和2年4月、本務の都合により、古川圭子兼担教授が担当する「心と身体」を齋藤洋典兼担教授に変更。
- 令和2年4月、松井恒夫兼担教授退職のため、「人類と資源」を工藤健兼担教授に変更。
- 令和2年4月、奥島輝昭兼担教授が、本務で教授に昇格。
- 令和2年4月、石川英里兼担准教授が、本務で教授に昇格。
- 令和2年4月、饒村修兼担准教授が、本務で教授に昇格。
- 令和2年4月、本務の都合により、玉田敦子兼担教授が担当する「実践外国語B」を棚橋美知子兼任講師に変更。
- 令和2年4月、加藤隆宏兼担准教授退職のため、「哲学と思考」を三浦太一兼担講師に変更。
- 令和2年4月、本務の都合により、長谷川浩一兼担准教授が担当する「生物と環境」を前島正義兼担教授に変更。
- 令和2年4月、櫻村京一郎兼担講師が、本務で准教授に昇格。
- 令和2年4月、西本和見兼担講師退職のため、「社会人基礎知識」を児玉充晴兼担教授に変更。
- 令和2年4月、本務の都合により、宗婷婷兼担講師が担当する「中国語入門Ⅰ」「中国語入門Ⅱ」を伊藤正晃兼担講師に変更。
- 令和2年4月、原田凍谷兼担講師が、本務で准教授に昇格。
- 令和2年4月、本務の都合により、松村亜矢子兼担講師が担当する「スポーツB」を神田智浩兼担講師に変更。
- 令和2年4月、野田英智兼任講師辞退のため、「新エネルギーシステム」を鹿島直二兼任講師に変更。
- 令和2年4月、中島賢吉兼任講師辞退のため、「電気法規及び施設管理」を山内雅夫兼任講師に変更。
- 令和2年4月、伊藤彰兼任講師辞退のため、「電気設計及び製図」を西尾比呂史兼任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	3	1	1	15	0	12	1	2	0	15	0
(10)	(3)	(1)	(1)	(15)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	1	2	0	15	0	12	1	2	0	15	0
[2]	[Δ2]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[2]	[Δ2]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
教授70 准教授以下65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。